



第 10 回学長セミナー ＜ プログラム・開催要領 ＞

- テーマ：社会的課題と大学の今－社会的存在としてできること－
- 開催日時：2023年12月12日（火）14:00～16:35（13:55 待機接続開始）
- 開催形式：Zoom ウェビナーによる開催
- 参加対象：本協会の正会員大学及び短期大学の学長・副学長等

＜開催趣旨＞

大学の行う教育研究は、社会的なインパクトも有しています。養成する人材、生み出す知的価値等によって、社会のあり方が大きく変わることもあり得るからです。そのために、社会的存在としての大学の役割に対しては、世界各国で常に期待と問い直しの動きがあり、例えば、分断が進み民主主義の危機も叫ばれる米国では、民主制の再建に向けた大学の役割を問う声が上がっています（Change 誌、2022年11-12月号）。

翻って我が国の状況を考えたとき、「課題先進国」という言葉が浮かび上がってきます。少子高齢化や地方社会の衰退はその最たるものであり、加えて、新たな価値創造によって、低成長下の経済・社会に明るい未来を描いていくことも必要とされているところでしょう。そのような中、社会的存在としての大学には何ができるのでしょうか。

そこで今回の学長セミナーは、社会課題の解決や価値創造につながる教育研究を展開し、SDGs への貢献において内外からの評価が高い大学や、地方経済・社会の厳しい将来が予想されるなかで、自らの位置づけを再確認し、地域創造に主体的な役割を果たそうとしている大学の学長にお話を伺います。また、スタートアップ企業を後押しする取り組みをしている方、教育を軸とした社会課題の解決等を掲げる社会起業家の方を招き、学長とともに社会的課題と大学の今、社会的存在として大学にできることを問うていきます。

（敬称略）

14:00 ~ 14:05	◆開会挨拶 高橋 裕子（大学基準協会 会長、津田塾大学 学長）
学長セミナー ー第 I 部ー	
14:05 ~ 14:30	講演① 「Novel Japan University Model とは何か」 寶金 清博（北海道大学 総長、大学基準協会 理事）
14:30 ~ 14:55	講演② 「松山大学の現在 ー未来に、確かな実りをもたらす大学へー」 新井 英夫（松山大学 学長、大学基準協会 評議員）
14:55 ~ 15:05	～休憩～

裏面へつづく

学長セミナー ー第Ⅱ部ー

15:05 ~ 16:30	◆パネルディスカッション・質疑応答 「社会問題に取り組むために、大学は何をすべきか」 パネリスト：寶金 清博 新井 英夫 竹井 智宏（株式会社 MAKOTO Prime 代表取締役） 平原 依文（HI 合同会社 代表） モデレーター： 益 一哉（東京工業大学 学長、大学基準協会 副会長）
16:30 ~ 16:35	◆閉会挨拶 堤 裕昭（大学基準協会 常務理事、熊本県立大学 学長） <p style="text-align: right;">（16:35 終了）</p>